

令和 7 年第 4 回

大河原町議会定例会（9 月会議）

総 括 質 疑

大 河 原 町 議 会

令和 7 年第 4 回大河原町議会定例会（9 月会議）

総 括 質 疑

No.	質 問 者	質 疑 事 項 及 び 要 旨
1 番	万 波 孝 子	<p>1. 各種減免制度の活用状況について 各種減免制度には申請減免規定が設けられている。町税、国保税、介護保険料で「収入が著しく減少したとき」も減免の対象になるが、令和 6 年度の減免申請と該当者は何名いたのか。住民への周知徹底について、反省すべき点はないか。次年度に向け、各種減免制度について詳しく書いたパンフレットの作成や、説明会等を設け周知にもっと力を注いでいく考えはないか。</p> <p>2. 不納欠損について 一般会計・特別会計の不納欠損の合計は18,991,776円（前年度比5,358,114円増）となった。収入未済額は159,771,156円（前年度比31,009,897円減）となった。各担当課による収納向上のための努力があつての結果だと受け止めるが、納入困難の町民と向き合う中で、生活実態をどのように総括したのか。また、収納対策検討チームで町にできる救いの手立てとして生保や就学援助制度で福祉面の対応したケースはあつたのか伺う。</p> <p>3. 世代交流いきいきプラザについて (1) 現在、世代交流いきいきプラザは放課後児童クラブの運営や子育て支援センターとしての機能を充分果たし、今や児童福祉施設と位置づけられているがこの理解でいいのか。 (2) 以前、町長は私の指摘に対し名称について見直しが必要であるかのような態度を見せたことがあつたが、名称変更について検討されたのか伺う。創設した当時の世代交流いきいきプラザは名称通り世代間の交流を促進し～、であつたがこの機能はなくなつたと理解していいのか。 (3) プラザの当初の目的を果たす必要があると考えるが、今後の検討課題と考えるかどうか。</p> <p>4. 国民健康保険特別会計について (1) 令和 6 年度の国保加入率は全世帯の25.7%（前年度26.9%）になった。令和 6 年度の国保加入者減の要因は被用者保険への適用拡大と後期高齢者医療保険への移行等で年々減少傾向にある。これにより各自治体毎に違う国保税の応能割や応益割合が一本化される都道府県化が一層進むことが懸念されるがどうか。 (2) 令和 6 年度末基金残高352,735,000円を2,716加入世帯に換算すると一世帯当たり約130万円となる。払いたくても払うことが困難な町民のためにこの一部を取り崩して国保税の引き下げに充てることについて検討されたのか。</p> <p>5. 介護保険特別会計について (1) 令和 6 年度末の介護給付費準備基金残高は441,807,000円になった。前年度の505,116,000円と比較しても依然として高い額になっている。確かに施設入所者が前年度比226人増で年々増えているがこれだけの基金残高は妥当と言えるのか。 (2) 金銭面で居宅サービスや施設サービスを控えている実態はないか。</p>

No.	質 問 者	質 疑 事 項 及 び 要 旨
1 番	万 波 孝 子	<p>(3) 介護報酬引き下げや介護スタッフ不足、経営難等の理由で廃止や縮小をした町内事業者の状況はどうだったのか。</p> <p>(4) 今後町民の介護の受け皿である事業所を守るために引き続き支援策及び国への支援を求めていくことが避けられない課題と考えるが、この点はどのように総括したのかを伺う。</p>